

# 友生小だより

伊賀市立友生小学校 学校だより No.7 2024年9月19日



## 避難訓練を実施しました

9月4日(水)、今年度2回目の避難訓練を実施しました。1学期は火災に対応した避難訓練でしたが、今回は地震に対応した避難訓練です。

子どもたちは、この日までに各学級で防災についての学習をおこなったうえで、今日の訓練を迎えました。教室での学習中に地震が発生したとの放送を聞き、危機回避の後、安全を確認して運動場に避難しました。その後、南海トラフについて、避難訓練や備えについてなど、いつくるかわからない地震への準備の大切さについて振り返りをしました。そして、災害時に大人と一緒にいるとは限らないということをもふまえ、避難経路や災害時の家族の集合場所など、防災の備えについて、お家の人と確認をしておくよう話をしました。ご家庭でも機会を捉え、子どもたちと話をしていただければと思います。

## 2年生、足立さんとの出会い学習

9月5日(木)、2年生が、さつまいも作りでお世話になっている足立さんにお越し頂き学習しました。この日、お話を聞かせていただいたのは、友生小学校の歴史です。

友生小学校が現在の場所に新しく建てられた開校当初、きれいに整備されてはいるものの何もなかった庭に、地域の方々が、子どもたちのためにと長い時間をかけて今の環境を整えてくれました。基礎から始めて池を作り、木を植え、花を咲かせ、様々な生き物が住むようになりました。「友生小学校では、観察など学習のために必要な植物や昆虫、魚などは、ほとんど学校の庭にそろっているよ。」という足立さんのお話に、子どもたちが驚きます。



また、サツマイモ畑となっている畑を作り、庭に校碑の基礎を設置してくれたのも地域の方々です。さらに、地域の方の支えだけでなく、家族、友だち、学校の先生など、周りに支えてくれる人がいること、自分たちが大切にされていることをあらためて実感できる学習となりました。

## 「全国学力・学習状況調査」の結果から

本年4月18日に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が7月末に発表されました。本校の子どもたちは、最後まで粘り強く取り組むことができました。無回答率も全国に比べて低い数値となっています。

### 【学力調査の結果】

友生小学校の結果

- 国語・・・「全国と比べてやや下回っている」
- 算数・・・「全国と比べてやや上回っている」



※ 表記については、学校の平均正答率の差が全国と比べて、+5%以上が「全国と比べて上回っている」、+2%以上～+5%未満が「全国と比べてやや上回っている」、±2%未満が「全国と比べてほぼ同じである」、-2%以上～-5%未満が「全国と比べてやや下回っている」、-5%以上が「全国と比べて下回っている」と表されます。

### 【各設問の結果からわかった本校の子どもたちの強み】

#### ◇国語

- 文の中における主語と述語との関係をとらえることができる。



#### ◇算数

- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。
- 二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して分類整理することができる。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

### 【各設問の結果からわかった本校の子どもたちの課題】

#### ◇国語

1. 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。
2. 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。

※ 上記1⇒本校正答率51% (全国正答率63%)、上記2⇒本校正答率61% (全国正答率83%)。ともに「問われている内容や、解答に対する条件を正確に読み取れていない」という課題が見られる。

3. 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

◇算数

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- 速さの意味について理解している。



道のり 600 m 400 m

時間 3 分間 2 分間

家 郵便ポスト 図書館

分速 200 m 分速 200 m

「家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか」

※ [正答は「分速200m」:本校47% (全国正答率54%)]

※ 約45%の児童が「分速400m」と解答

【学習状況調査の結果からわかった本校の子どもたちの様子】



【良いところ】

- 学習意欲については、「算数の勉強は好き」と肯定的に回答した児童が、全国に比べ16.8ポイント高い数値でした。また ICT教育について「授業で、PC・タブレットなどの「ICT機器を使用した」と肯定的に回答した児童が全国に比べ 10.9 ポイント高い数値でした。
- 学校生活については、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と肯定的に回答した児童が、全国に比べ16.8ポイント高い数値でした。その他「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった設問も、肯定的に回答した児童が、全国に比べ高い数値でした。



かだい  
【課題】

○ スクリーンタイムについて

「平日の携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画視聴」が1日当たり2時間以上と回答した児童が全国に比べ8.9ポイント高い数値でした。また、「平日のテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム)の時間」が1日当たり2時間以上と回答した児童は全国に比べ1.2ポイント高い数値でした。このことが「家庭学習の時間」や「読書習慣の定着」という本校の課題にも影響していると考えられます。子どもたちが自ら「時間を計画的に過ごす」ことを意識した生活を送るための取り組みを進めていきます。ご家庭でも、ご協力をよろしく願います。

○ 「読む力」の向上・読書習慣の定着について

国語科の課題でも前述しましたが、本校の子どもたちの課題として、「読む力の向上」があげられます。文章の内容を正確に読み取り、その要点を正しく把握するというのは、国語科だけでなく全ての学習において基本となる力です。今回の学力調査でも、算数科においても問われている内容を正確に把握出来ていない事による誤答が多く見られました。「読む力」に関する、今回の設問の結果については、「家にある本の冊数(雑誌、新聞、教科書は除く)」が10冊以下と回答した児童が全国に比べ2.1ポイント高い数値でした。また、「新聞を読んでいる(週1回以上)」と回答した児童が、全国に比べ7.9ポイント低い数値でした。本校でも、低学年を中心とした「読み聞かせ」や、高学年を中心とした「ビブリアバトル」など、子どもたちが読書を楽しみ、習慣として定着するための様々な取り組みを進めています。ご家庭でも、ご協力をよろしく願います。

学校では、学力調査の結果をさらに詳細に分析し、課題の解決に向けた具体的な手立てを考え、今後の指導改善につなげてまいります。また、課題解決におき、学校と家庭の連携を大切にしながら取り組みを進めていきたいと考えています。

お知らせ

9月より、山瀬 卓也(学校用務員)、前川 和子(講師)、南 治美(講師)、の3名が、本校に着任いたしました。どうかよろしく願います。